

平成27年度組織目標中間評価シート

課名：琵琶湖環境部 自然環境保全課

番号	目標項目	目標値・目標の内容	進捗状況 (目標の達成状況および 達成に向けた取組の実施状況等)	年度末 達成見込	目標達成が困難 と見込まれる場 合の原因	今後の対応方針 (目標達成に向けた取組および スケジュール等)	知事または 副知事からの指 摘・指示 への対応
1	巨樹・巨木林、お 花畑など貴重な生 態系の保全	○巨木の保全に関する協定締結 65本 ○未確認の巨樹・巨木林を調査し、恒久的保全策を策定する。	○市、保全団体と協力・分担し、森林所有者との保全協定締結を進めている。(交付決定 45本) ○未確認の巨樹・巨木林の調査実施中。	○	-	○今後、保全協定締結予定 20本 ○新たに確認された巨樹・巨木林を含め、次世代へ引き継ぐための保全策を策定。	
		①伊吹山 入山協力金による生態系保全の取組の本格導入 ②鈴鹿 植生保護策の実施と捕獲手法の確立	①伊吹山 ・平成27年5月から入山協力金を本格導入し、これを活用した植生保護柵1,100mを設置。 ②鈴鹿 ・樹皮保護柵等設置工事および指定管理鳥獣捕獲等事業計画の発注手続中。	◎	-	①伊吹山 ・ニホンジカによるお花畑の食害が顕著となっており、緊急に植生保全対策を実施する。 ②鈴鹿 ・昨年度に引き続いて樹皮保護柵等設置工事を行うとともに、指定管理鳥獣捕獲等事業計画により捕獲手法と捕獲計画を定める。	
		○生態系に着目したレッドリストを策定し、保全策の検討を行う。	○生態系レッドリスト調査委託実施中。	◎	-	○年度末までに生態系レッドリストを作成し、保全策の検討を実施。	
2	外来生物防除対策 の推進	○オオバナミズキンバイを管理できる面積まで減少 ○住民、企業等多様な主体との連携によるナガエツルノゲイトウなど外来水生植物防除の推進 ○外来種リスト等を用いた外来種の啓発	○南湖西岸を対象に、水草刈取り船とジェットポンプを併用した駆除を、南湖東岸を対象に建設機械による駆除を実施。 ○琵琶湖外来水生植物対策協議会の開催 1回 ○北湖周辺でのオオバナミズキンバイの駆除 2回実施、2回調整中 ○住民等との連携による駆除 3回 ○外来種リスト作成中	○	-	○再生の著しい区域も含め、建設機械等による大規模群落の駆除を進めるとともに、小規模群落における人力駆除を進める。 ○近畿地方環境事務所等との連携による防除を進める。 ○市町、住民等と連携した駆除を実施。 ○外来種リスト等を用いた外来種の啓発を実施。	
3	野生獣被害対策の 推進	○ニホンジカの平成22年度の推定生息数47,000～67,000頭の半減をめざし、捕獲数を16,000頭(狩猟および許可捕獲による捕獲)とする。	○特別対策事業および緊急捕獲等対策事業により捕獲を推進。 ○地域ぐるみでの捕獲に対して新たに助成を実施。 ○指定管理鳥獣捕獲等事業計画の作成(比良山)。	○	-	○目標頭数を達成するため、引き続き捕獲(狩猟・許可捕獲等による捕獲)を推進するとともに、霊仙山および伊吹山において広域管理捕獲に取り組む。 ○ワナ猟による捕獲講習会開催。	
4	【新】生態系サー ビスの持続可能な 利用の仕組みの構 築	○生物多様性保全活動を評価・認証する仕組みの構築 ○活動主体、活動場所、活動資金、知識・技術等のマッチングを推進する仕組みの構築	○評価・認証等検討会を10月26日に開催。	◎	-	○検討会を開催し、年度末までに、生物多様性保全活動を評価・認証する仕組みおよび活動主体、活動場所、活動資金、知識・技術等のマッチングを推進する仕組みを構築。	
		○里山を活用した生態系サービス利用モデルの構築	○生態系サービスモデル地域候補地の検討。 ○生態系サービス利用モデル検討会を10月7日に開催。	○	-	○モデル地域2箇所の選定および検討会を開催し、年度末までに、生態系サービス利用モデルを構築。	